

## 令和元年度 第2回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

1 日 時 令和元年8月6日(火) 午後2時00分～午後3時30分

2 会 場 今治市役所 第2別館11階 特別会議室1・2号

3 内 容

議事1 今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標(KPI)の達成度検証について

議事2 第3次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標の達成度検証について

議事3 地方創生推進交付金事業(平成30年度実施事業)の効果検証について

4 出席者

<座長>

越智企画財政部長

<専門委員>

瀬野 哲郎	村上 伸幸	山本 一馬	丹下 隆志
宇高 秀志	吉田 和史	吉武美由紀	門田 正孝
赤尾 宣宏	門田 尚樹	吉武 優子	望田 友加

<構成員>

森山 徹	村上 稔	平田 親吾	鳥生 幸司
瀬尾 孝志	品川 二郎	森 会美	藤井 康隆
越智 秀樹	鎌田 浩志	岡本由利香	

<PT及び事業担当者>

総務調整課	宮崎 晃嘉	財政課	垣内あゆみ
高齢介護課	木村 光男	障がい福祉課	森 理
子育て支援課	松岡 敏一	道路課	井手 則緒
下水道業務課	菊川 茂之	消防本部総務課	越智 仁
教育委員会事務局総務課	白石 恭一	営業戦略課	鳥生 宏
商工振興課	長橋 伸泰	農林振興課	阿部 隆太
水道総務課	梶川 ゆか	リサイクル推進課	村上 勝二
スポーツ振興課	西原 孝		

<事務局>

(企画課) 秋山課長、越智補佐、大政係長、川崎主査、高橋技師

令和元年度 第2回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

事務局	<p>本日はお盆前の大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。また、この土日に開催されました今治市民のまつり「おんまく」につきましても、ご協力いただきましてありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。それでは、定刻となりましたので、ただ今より令和元年度第2回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を開催いたします。</p> <p>私、事務局を務めさせていただきます企画課長の秋山でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、まず、開会に当たりまして、座長であります越智企画財政部からご挨拶申し上げます。</p>
座長	<p>皆様、こんにちは。座長を務めさせていただきます、企画財政部長の越智と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日はお忙しい中お集まりいただき、まことにありがとうございます。</p> <p>「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」も設置から4年が経過し、専門委員の皆さまの2回目の任期が6月末をもって満了し、7月から新たな2年間の任期が始まったところでございます。継続してご就任いただいている委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しいなか、今治市の人口減少対策・地方創生への取組にご協力をいただきますこと、心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、本日の案件でございますが、人口減少の抑制に向け策定いたしました「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び、魅力的な定住圏域形成のための各種取組を示しました「今治市定住自立圏共生ビジョン」、これら二つの計画におきまして設定しました数値目標の達成度検証となっております。各分野における取組が、数値目標の達成に向けて成果を上げているかどうかを検証し、今後の施策に反映させるという趣旨でございますので、委員の皆さまからの積極的なご意見をいただけたらと思っております。</p> <p>また、前回の第1回懇談会にてご意見をいただきました、「平成30年度実施の地方創生推進交付金事業の効果検証」につきまして、KPI取りまとめの都合により、お諮りできていなかった事業が1件ございます。これにつきましても、併せて専門委員の皆様のご意見をお聞かせ願いたく存じます。</p> <p>なお、総合戦略や共生ビジョンに基づく取組を、より市民の皆さまに開かれたかたちで進めていくため、今年度も本ビジョン懇談会は公開会議とさせていただきます。また会議録におきましても、市の公式ホームページにて公開させていただきますので、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。なお、会の途中で傍聴される方が入室する場合もございますので、ご了承いただければと存じます。</p> <p>それでは、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それではこの後、座ったまま進行させていただければと思います。</p> <p>それでは、まず、資料の確認をさせていただきます。今回使用する資料は、会次第、資料1今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標（KPI）評価調書、資料2第3次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標評価調書、資料3地域再生計画（稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業）、資料4地方創生推進交付金事業効果検証調書（稼ぐ力を創出するスポーツと</p>

	<p>文化による地域活性化事業)となっております。</p> <p>また、参考資料としまして今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略、第3次今治市定住自立圏共生ビジョンをご覧くださいようになります。</p> <p>併せて、机の上に2点、「配席図」「資料1の1ページ目」を配布させていただいております。「資料1」については、1ページ目の通し番号8⑤販路拡大支援のKPI設定根拠の単位に誤りがありましたので、事前にお配りしているものと、差替えをお願いいたします。</p> <p>皆様、おそろいでしょうか。</p> <p>では、ここからの進行を座長の企画財政部長にお願いしたいと思います。</p>
座長	<p>それでは、進めさせていただきます。会次第をご覧ください。本日は3つの案件がございます。まずは、本日の議事の進め方について事務局からご説明いたします。</p>
事務局	<p>それではご説明いたします。まず前段といたしまして、今年度新任の委員さんもいらっしゃいますので、本日ご審議いただきます、『総合戦略KPIの達成度検証』及び『共生ビジョン数値目標の達成度検証』、それぞれの趣旨や必要性についてご説明差し上げます。</p> <p>今治市における人口減少問題の克服に向けて、平成27年度に策定いたしました「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」におきましては、施策ごとに、その効果について客観的に検証するための「重要業績評価指標」、いわゆるKPIを設定しております。また、魅力的な定住圏を形成することで、人口流出に歯止めをかける目的で策定いたしました「今治市定住自立圏共生ビジョン」におきましても、施策分野ごとに数値目標を設定しております。</p> <p>これらの取組をより効果的に進めるためには、各数値目標の達成度により事業の進捗状況を検証し、それを反映させて改善していく仕組みの構築が重要になってまいります。</p> <p>そして、国からの交付金等の支援についての手続きを適切に進めるためにも、外部専門委員の皆さまからのご意見を頂戴し、しっかりとした効果検証を実施する必要があります。委員の皆さまにおかれましては、効果検証の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。</p> <p>同じような形の数値目標でございますけれども、総合戦略につきましては内閣府の施策、それから共生ビジョンにつきましては、総務省の施策ということで、若干取組の部分のところに重複がございますけれども、いずれにしましても、人口減少対策という施策ということになるかと思っております。</p> <p>それでは、協議の進め方についてご説明します。</p> <p>議事1の総合戦略KPIの達成度検証につきましては、お手元の資料1の調書に基づいてご協議いただきます。総合戦略の4つの基本目標ごとに、全4枚の調書となっております。KPIは全部で50本と多数に上るため、事業に大きな進捗のあったものや取組の現状をお伝えしたいものなど、分野ごとにいくつかピックアップして、各担当課からご説明したうえで、委員さんのご意見をいただければと思います。</p> <p>議事2の共生ビジョン数値目標の達成度検証につきましても、資料2の全3枚の調書に基づき、同様の流れで進めさせていただけたらと思います。資料1、資料2</p>

	<p>とも、左端の通し番号をオレンジ色に着色してある項目が、今回ご説明させていただき項目となっております。</p> <p>最後に、先ほど座長のあいさつにありました、前回 KPI の取りまとめができていなかった案件ですが、議事 3 の地方創生推進交付金の効果検証について、資料 3 の地域再生計画（稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業）の概要をご説明します。</p> <p>国においては、スポーツツーリズムに係る消費額（2020 年までに 3800 億円へ）や、文化産業の経済規模（文化 GDP 約 5 兆円（2011 年））を試算するなど、新たな視点によるスポーツ・文化の経済効果の評価が行われています。そこで、資料 3 の 1 ページ 4 - 2 地方創生として目指す将来像に示すとおり、県内においても、スポーツや文化を切り口としたイベントの実施など、既存の産業に加えて、時代の流れをとらえたスポーツ産業・文化産業のような新たな産業振興に取り組むことで職業選択の幅を増やし、雇用の確保を伴った移住・定住が進むまちを目指して、各種施策を実施しようとするものです。</p> <p>30 年度に交付金を充て実施した主な取組としましては、愛・野球博実行委員会による、「野球」を切り口にした各種事業を展開しております。</p> <p>資料 4 の地方創生推進交付金事業効果検証調書に基づいて、K P I の状況と、実施した具体的事業の概要等について担当課からご説明申し上げ、そのあと、委員さんのご意見をいただくという流れで進めさせていただければと思います。</p> <p>以上が協議の進め方でございます。積極的なご発言を何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
座長	<p>本日の議事の進行について、なにかご質問等ございませんか。 （質問等なし。）</p> <p>ないようでしたら、先ほどの事務局の説明のような流れで進行させていただきます。</p> <p>それでは、議事 1 「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略 K P I の達成度検証」につきまして、資料 1 「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標評価調書」をご覧ください。</p> <p>まず、基本目標について、事務局よりご説明させていただき、その後、それぞれの基本目標に係る具体的取組について、各担当課からご説明させていただきます。その後委員さんからまとめてご意見をいただければと思います。</p> <p>それではまず始めに、1 つ目の基本目標「だれもがこの地で元気に働けるふるさとを創る」について、事務局からご説明いたします。</p>
事務局	<p>それでは、資料 1 の通し番号 1 番のご説明いたします。1 つ目の基本目標は「いまばりに安定した雇用を創出する」しごとの創生の分野でございます。本市の基幹産業であります造船やタオルをはじめとする産業の振興により新たな雇用を創出し、流出が続く若年層の今治回帰を目指し、定住人口の拡大に繋がる施策に取り組んでいるところでございます。</p> <p>KPI につきましては、2014 年の人口流出△811 人から、2019 年には△375 人程度に抑制したいと考えており、2018 年は△492 人の達成度 73%となっております。現在設定している KPI には、外国人は含まれておりませんが、住民基本台帳 2015 年 1</p>

	<p>月時点で約 2000 人だった外国人が 2019 年 1 月時点では約 3000 人と 1.5 倍になっており、入管法の改正はじめ制度改正等により外国人労働者が増加していく中、外国人への就労支援や生活環境の整備等を充実させる施策についても、検討していく必要があると認識しております。</p> <p>今後とも、雇用の創出に向け、産業競争力の強化や、働きやすい環境整備、人材の確保・育成につながる施策に取り組み、だれもがこの地で元気に働けるまちづくりを推進していきます。</p> <p>それでは、調書の 1 枚目、通し番号 7 番、具体的施策の「(ア) 海事とタオルのまちづくり」「④今治タオルブランドの強化支援」について、続けて通し番号 11「(イ) 地域の企業・産業が成長するまちづくり」「②地域産業の競争力強化」について、担当課よりご説明いたします。</p>
<p>平田構成員</p>	<p>通し番号 7、具体的施策の「(ア) 海事とタオルのまちづくり④今治タオルブランドの強化支援」の KPI 「「今治タオル」産地の認知度」について、商工振興課より説明させていただきます。本施策に関しましては、具体的な数値目標として平成 26 年の「今治タオル」産地の認知度 76.9%を令和元年に 3.1%増の 80.0%にしております。</p> <p>平成 27 年以降、認知度調査は行われていませんでしたが、平成 30 年 12 月、今治タオル工業組合にて実施し、88.0%となっております。認知度向上の要因としましては、H29 年 3 月の今治タオル本店リニューアルオープンや外部企業や団体、各分野のクリエイターとのコラボレーションプロジェクトの第一弾として、H30.10 にメイクアップアーティストとのコラボレーション商品の発表を行ったこと等が考えられます。今後も、今治タオルブランドの管理体制強化をはじめ、消費者の信頼を担保する品質維持向上事業等を支援していくとともに、コラボレーションプロジェクトを支援してまいります。</p> <p>また、タオルの関連で、皆様方にはご心配をお掛けしておりますが、先日 NHK で放送されました外国人技能実習生のドキュメンタリー番組を受けて、市にも色々な方から多くのご意見をいただきました。</p> <p>放送終了後、直ちに技能実習生の相談対応や援助・保護を行う外国人技能実習機構へ、本件に係るしっかりした調査と監理団体等へ適切な制度の運用について、周知を徹底していただくようお願いをするとともに、今治タオル工業組合におきましては、研修会を開催して改めてコンプライアンス遵守の徹底や制度の再確認をいたしました。</p> <p>今後は、警察署や労働基準監督署等の各関係機関と連携を密にし、外国人の方の支援の拡充に努め参ります。以上でございます。</p>
<p>営業戦略課 (鳥生係長)</p>	<p>「創業支援事業計画に基づく支援者数」について、ご説明させていただきます。こちらは、共生ビジョンでも「生活機能の強化にかかる政策分野」における成果指標の一つとなっております。</p> <p>地域産業の競争力強化により、本市の特徴である「ものづくりのまち」として、技術の継承開発及び新産業創出を図るため、平成 26 年に『今治市創業支援事業計画』を作成し、産業競争力強化法に基づく認定を受けました。</p> <p>この計画における実践すべき取り組みとして、各支援機関によるワンストップ窓</p>

	<p>口の拡充及び個別相談対応の充実、並びに創業塾の開催、また、助成金やインキュベーション施設を活用した支援などに努めてまいりました。</p> <p>これらの取り組みにより、創業支援者数は、平成 27 年度には 304 人、平成 28 年度には 246 人、平成 29 年度には 188 人と、わずかに年々減少傾向ではあるものの、3 か年の合計を 738 人にまで積み上げ、5 か年での目標値である 1,430 人の 52% という成果を上げることが出来ました。</p> <p>また、平成 30 年度は、さらなる支援体制の拡充を図るため、隣接する上島町と合同で計画作成を行い、『今治市・上島町 創業支援等事業計画』として、新たに更新認定を受けました。この新計画には、愛媛県が主催する「愛媛グローバルフロンティアプログラム」や、創業に興味がない方を対象に創業機運の醸成を図る「高校ベンチャー留学」などの新しい魅力的な取り組みが追加されています。</p> <p>これらの新メニューが加わり、「イマバリ・カミジマ レッツ創業ネットワーク」を構築して連携強化に取り組んだ結果、平成 30 年度の創業支援者数は、過去最高の 324 人と、前年度に比べて 1.7 倍の伸びを記録しました。</p> <p>今後、世界的に認知されている「しまなみ」のサイクリングツアーをはじめとして、この今治ならではの恵まれた自然環境を生かした創業ニーズは、益々高まっていくと思われるため、さらなる支援体制の連携強化を図りつつ、SNS 等を使用して、広く情報発信に努めていきたいと考えております。以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。次に 2 つ目の基本目標「未来を担う子どもたちをみんなで育むふるさとを創る」について、事務局からご説明いたします。</p>
事務局	<p>2 つ目の基本目標は「若い世代の出会い・結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」ひとの創生の分野でございます。若い世代が安心して働き、希望通りに結婚し、出産・子育てができるような社会環境の実現に向けた施策に取り組んでいるところです。</p> <p>KPI につきましては、子育てに関する不安感や負担感の割合について、2013 年時の割合 44.6%から下げるという目標に対し、2018 年にアンケートを実施したところ、割合 47.2%と増加しております。このアンケート結果を基に、次期「今治市子ども・子育て支援事業計画」を策定しているところです。</p> <p>この計画は、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境の整備を目的としており、その計画に基づく取組をはじめ、若い世代が安心して働き、結婚し、出産・子育てができるような社会環境の実現に向け取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>それでは、調書の 2 枚目、通し番号 20 番、具体的施策の「(ア) 少子化対策の強化」「②出会い・結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」について、続けて通し番号 21 「③子育て世帯の経済的負担の軽減」について、担当課よりご説明いたします。</p>
子育て支援課 (松岡係長)	<p>子育て支援課よりご説明いたします。</p> <p>それではまず、通し番号 20②出会い・結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援からご説明いたします。</p> <p>今治市における子育て環境や支援への満足度ですが、H25 年に行ったアンケートの 61.4%より向上させるという目標でございました。昨年度行ったアンケートで</p>

	<p>は、満足度が 63.5%となっており、比較しますと 2.1%向上しておりました。</p> <p>このことに関する事業の1つとしまして、放課後児童クラブ事業がございます。H25 年のアンケート調査以降に実施した内容といたしましては、まず、事業内容の拡充として、H27 年度から、基本的には 3 年生までの受け入れを、高学年も受け入れできるように順次進めております。待機児童の対策として、H26 年度に別宮小学校校区では、仲よし児童クラブを拡張し、受け入れ人数の拡充を図りました。H28 年度には、待機児童の多い乃万小学校校区の受け入れ先の拡充のため、民間業者の「社会福祉法人山路白鳩福祉会」と「学校法人今治普門学園」へ児童クラブの活動委託を行いました。H29 年度には、富田小学校校区では、富田児童クラブの施設を拡張し、受け入れ人数の拡充を図りました。H30 年度には、菊間小学校校区に菊間児童クラブを新設し、近見小学校校区の近見児童クラブの施設を拡張し、受け入れ人数の拡充を図りました。また、子ども子育て会議健全育成部会にて、乃万小学校校区の民間の児童クラブである「学校法人今治普門学園」に対し、施設の拡張に対する補助を決定し、今年度、整備を予定しております。</p> <p>続きまして、通し番号 21③子育て世帯の経済的負担の軽減についてご説明させていただきます。</p> <p>子育て世帯への経済的援助の拡充要望率ですが、H25 年に行ったアンケートの 61.6%より下げるという目標でございました。昨年度行ったアンケートでは、要望率が 59.2%となっており、比較しますと 2.4%減少しておりました。</p> <p>このことに関する事業として2つご説明させていただきます。まず1つ目として、愛顔の子育て応援事業についてですが、愛媛県と県内市町及び県内紙おむつ生産企業との官民協働により、平成 29 年 4 月 1 日以降に生まれた第 2 子以降の出生世帯に、県内企業 3 社の乳児用おむつ製品を、今治市内の登録店舗で購入する際に利用できる『愛顔っ子応援券』50,000 円分、1,000 円券×50 枚綴りを交付し、子育て世帯の負担軽減を図る事業です。配布方法ですが、出生届提出時や転入手続き時にご案内し、子育て支援課もしくは支所住民サービス課で申請いただき、配布しております。現在利用できる店舗は、63 店舗となっております。</p> <p>次に子育てファミリー応援ショップ事業についてですが、妊婦や小学校就学前の子どもがいる世帯の方が、協賛店舗で買い物などをしたときに、「母子健康手帳」または「子育て応援カード」を提示すると割引や特典などのサービスを受けることができる事業です。平成 20 年度より行っている事業ですが、5 年ごとに見直しを行い、好評のため、令和 4 年度まで継続することとなっております。今現在登録されている店舗数は、353 店舗です。</p> <p>今後、アンケート調査の結果を踏まえながら、既存事業の継続及び拡充について検討し、充実を図ってまいります。以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。次に 3 つ目の基本目標「だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る」について、事務局からご説明いたします。</p>
事務局	<p>3 つ目の基本目標は「いまばりへ新しいひとの流れを創る」交流の創出の分野でございます。交流人口の拡大は重要な課題として捉えており、観光入込客数の拡大を図る施策に取り組んでいるところです。また、移住定住についても、県下にて取組が推進されており、今治市においても効果が出ているところであります。</p>

	<p>KPI につきましては、観光入込客数を 2014 年の 264 万人から、2019 年には 300 万人へ増加させてまいりたいと考えておりますが、2014 年から 2017 年は増加傾向にあったものの、2018 年は 7 月の豪雨災害等が大きく影響し 258 万人と減少しております。</p> <p>引き続き、交流人口や移住定住の拡大に向け、様々な地域資源を活用した、まちづくりにつながる取組を推進していきたいと考えております。</p> <p>それでは、調書の 3 枚目、通し番号 35 番、具体的施策の「(エ) 移住・定住の促進」「①移住・定住支援策の充実」について、担当課よりご説明いたします。</p>
<p>瀬尾構成員</p>	<p>「短期移住体験施設稼働率」について、説明させていただきます。</p> <p>こちらは、共生ビジョンでも「結びつきやネットワークの強化にかかる政策分野」における成果指標の一つとなっております。</p> <p>短期移住体験施設「クルツラントゥレーベン大三島」は、高齢化や人口減少の著しい島嶼部において、短期的な滞在を通して地域の魅力を提供し、当地域への移住を図ることを目的とした施設であり、廃校となった岡山保育所を活用して平成 25 年度に整備されました。1 週間まで低料金で宿泊でき、農作物の収穫体験や島内めぐりなど約 30 種の体験メニューを提供しています。</p> <p>また、当施設は平成 15、16 年度に整備された滞在型農園施設「ラントゥレーベン大三島」に隣接しています。ラントゥレーベンは最長 5 年間の長期滞在を通して移住促進を図るために整備された施設であり、ラントゥレーベンの利用を検討するためにクルツラントゥレーベンで短期間の移住体験ができるという要素もあります。ラントゥレーベン利用者の約 42%が大三島へ移住しており、今後も両施設を活用して大三島への移住者を増やしていきたいと考えております。</p> <p>平成 30 年度の稼働率は 30%で、前年度に比べて 2%減少するなど、施設の稼働率は伸び悩んでおります。一定のリピーター利用がなかったことやパブリシティ等の露出が少なかったことが稼働率の低下に繋がったと思われまます。</p> <p>しかし平成 30 年度の利用者のうち 8 割以上が県外の利用者であり、恵まれた自然環境により都市部からのニーズは引き続きあるため、県外に向けて積極的に周知をしていきたいと考えております。現在は HP に施設情報を掲載したり、県外で開催される就農フェアの際にパンフレットを配布することで施設の周知を図っているところです。就農フェアなどのイベントは県外の方に直接施設を紹介できる貴重な場ですので、今後もそのような機会を活用して、施設利用者の増加に繋がられるよう努めていきたいと考えております。以上でございます。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございました。最後に 4 つ目の基本目標「中心部と周辺部が連携した日本でいちばん住みたい地域を創る」について、事務局からご説明いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 つ目の基本目標は「好循環を支える、ふるさとを活性化する」まちの創出の分野でございます。「しごと」と「ひと」と「交流」の好循環を支えるために、「まち」の基盤づくりに取り組んでおります。</p> <p>KPI につきましては、今治市に住みたいと感じる市民の割合について、2014 年実施の市民アンケート結果における 80.0%から、2019 年実施予定の市民アンケートにおいては 83.0%にするという目標にしております。また、今治市の暮らしやすさの評価点（平均点）につきましても同アンケートによる 2014 年の 64.0 点から 2019</p>



	<p>年アンケート結果では 67.0 点を目標にしております。</p> <p>2019 年の市民アンケートにつきましては、7 月 24 日に発送いたしましたして、8 月 19 日を回答期限に、現在ご回答いただいているところでございます。過疎化高齢化がますます進み、解決すべき地域課題はまだまだございますが、誰もが住み続けたい・住んでみたいと思える、魅力的なまちづくりを推進してまいります。</p> <p>今回、4 つ目の基本目標に係る具体的取組については、ピックアップしている案件がございませんので、「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略 K P I の達成度検証」についてのご説明は以上となります。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、資料 1 の説明が終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>もしございましたら、最後の質問でも結構ですので、ご発言いただけたらと思います。</p> <p>そうしましたら、次の議事に移らせていただきます。会次第にございますとおり、議事 2 「第 3 次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標の達成度検証」でございます。資料 2 「第 3 次今治市定住自立圏共生ビジョン基本目標及び成果指標評価調書」をご覧ください。1 枚目と 2 枚目の調書から 5 件、ご説明させていただき、その後委員さんからのご意見をいただければと思います。</p> <p>ではまず初めに、通し番号 1、「A 医療分野」について、担当課よりご説明いたします。</p>
森山構成員	<p>それでは、健康推進課からご説明させていただきます。</p> <p>通し番号 1 「医療」の政策分野では、「24 時間 365 日の救急医療体制の維持」を基本目標として設定しており、2 次救急医療輪番制を切れ目なく維持するという意味で目標値を 365 日としております。平成 30 年度におきましても、これまでと同様に市内の輪番参加病院のご協力により、空白日を作ることなく、2 次救急医療輪番制を 365 日維持することができました。</p> <p>今治市を含む今治医療圏域における救急医療体制の現状と課題をご説明させていただきます。医師の高齢化や後継者不足をはじめ、その他医療従事者不足等の様々な要因により、今治医療圏域の救急医療体制を維持することが今後ますます困難となることが予想されますが、昨年度から 3 か年の予定で、医師会市民病院に土曜日から日曜日にかけての連続 24 時間を愛媛大学からの外科系及び内科系医師各 1 名及び看護師 2 名を 1 チームとした医療チームの 2 交代制による支援を受け、救急医療体制の維持を図っているところでございます。ただし、愛媛大学からの医療チームの派遣につきましては来年度末に終了予定であることから、再来年度である令和 3 年度以降の今治医療圏域の救急医療体制をどのように維持していくかが重要な課題であります。</p> <p>今後につきましては、20 年先、30 年先を見据えた対策が必要であると考えております。今治市の将来人口や年齢構成、必要とされる医療資源等を見定めつつ、将来の医療ニーズや疾病構造の変化に基づく需要予測を踏まえ、今治医療圏域の 2 次救急医療体制のあり方について、愛媛県や今治市医師会等と協議を行ってまいりた</p>

	<p>いと考えております。</p> <p>市民の安心安全な生活、そして命を守ることが行政の責務と考えています。これからも、愛媛県や今治市医師会にもご協力をいただきながら、今治医療圏域の救急医療体制の維持に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。次に、通し番号7、「B 福祉分野」「エ 障がい者が安心できるノーマライゼーションの推進」について、担当課よりご説明いたします。</p>
障がい福祉課 (森補佐)	<p>障がい福祉課より、説明をさせていただきます。</p> <p>相談支援体制のうち、相談支援事業所についてでございますが3事業所（今治市障がい者生活支援センター・今治福祉施設協会相談支援事業所・今治市障害者地域活動支援センター）に加え、平成29年度からは新たに「今治市基幹相談支援センター」が本格稼働しました。相談支援体制における組織の充実を図り、平成30年度には、目標値7,200件に対し8,382件（116%）という実績となりました。なお、平成29年度7,438件から12.7ポイントの増加となっております。</p> <p>平成27年度以降障害者手帳所持者数は、減少していましたが平成30年度には、増加に転じました。知的障がい者数及び精神障がい者数は年々増加している中、身体障がい者数は僅かな減少に留まった結果、プラスとなりました。また、基幹相談支援センター2年目の本格稼働により認知されてきたことや、精神障害のある方の増加による、多種多様な相談件数の増加などが件数増加の一因であると考えております。</p> <p>現状でございますが、相談支援事業所ごとの相談件数の内訳といたしましては、今治市障がい者生活支援センター 452件、今治福祉施設協会相談支援事業所 442件、今治市障害者地域活動支援センター 5,278件、今治市基幹相談支援センター 2,210件となっております。全件数の63%を今治市障害者地域活動支援センターが占めており、これは、当該事業所が主に精神障がいのある方々の相談に対応しており、福祉サービス、精神的不安や情緒安定、家族関係や人間関係の相談などの件数が多いためでございます。</p> <p>また、相談内容につきましては、福祉サービス利用等に関する相談 2,891件・30.6%と最も多く、次いで健康・医療に関する相談 1,129件・12.0%、家族関係・人間関係に関する相談 1,121件・11.9%となっております。</p> <p>今後も知的障がい、精神障がいのある方の増加や基幹相談支援センターの知名度の高まり、また相談内容の複雑化、困難事例の増加、それに伴う解決時間の長期化などから、今後も相談件数は増加するものと予想されます。</p> <p>つきましては、今後、目標値の上方修正を検討することも必要であると考えております。障がいのある方々が、安心して生活できる共生社会を目指してその基盤となる相談支援を継続して、対応して参ります。</p> <p>以上で相談支援体制についての説明を終わらせて頂きます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。それでは調書2枚目をお開きください。次に通し番号23及び24、「F 生活インフラの整備」「ア 圏域の水道事業の集約とネットワーク」について、担当課よりご説明いたします。</p>
水道総務課 (梶川係長)	<p>通し番号23、『F 生活インフラの整備』の『浄水場の集約』及び、24ア『水源の集約』につき、水道総務課よりご説明申し上げます。</p>

	<p>水道法に基づき飲料に適した水を供給する水道のうち、計画給水人口が 5,001 人以上を上水道、101 人以上で 5,000 人以下を簡易水道、100 人以下を飲料水供給施設と申します。</p> <p>小規模な水源・浄水場での運営は維持管理費が割高で渇水期に安定した取水が難しくなるため、平成 22 年度に策定しました『今治市水道ビジョン』計画に基づき、事業・施設等の統廃合を進めています。</p> <p>平成 29 年 4 月、玉川中村簡易水道・玉川力石飲料水供給施設を玉川上水道へ、大西別府西簡易水道を大西上水道へ、吉海簡易水道を越智諸島上水道へ、岡村・小大下簡易水道と大下簡易水道を関前簡易水道へ事業統合するのに合わせ、送水事業も進めてまいりました。玉川上水道事業の水をポンプ場、送水管を設置し、中村・力石の給水区域へ送水することにより、平成 30 年度中村・力石地区の浄水場及び水源を廃止しました。現在進行中の大西・菊間送水整備事業では、広域農道ルートに送水管を新設し、蒼社川水系の水を神宮ポンプ場、大西菊間調整池を経て大西・菊間の給水区域へ送水しますが、大西地区への送水が始まったことにより、平成 30 年度におきまして、4 浄水場 3 水源を廃止いたしました。菊間地区への送水が始まるのは、現在建設中の（仮称）高橋浄水場の完成見込令和 3 年度末以降になる予定でございます。この他、『今治市水道ビジョン』計画に基づき、越智諸島上水道の 1 浄水場 1 水源を平成 30 年度に廃止しております。</p> <p>本共生ビジョンの目標値の設定は、簡易水道事業を上水道事業へ統合する『簡水統合』に於ける浄水場・水源の廃止であり、浄水場を 5 箇所、水源を 7 箇所としておりました。工期の遅れ等により、予定より廃止の時期が遅れたものもございりますが、削減目標は達成できました。</p> <p>簡水統合による浄水場・水源の廃止は『今治市水道ビジョン』計画に於ける施設統廃合の一部であり、今後も水道ビジョンに則って集約を進めてまいります。</p>
座長	<p>ありがとうございました。それでは最後となります、通し番号 26、「ウ 圏域のごみ処理施設の集約とネットワーク」について、担当課よりご説明いたします。</p>
リサイクル推進課 (村上主査)	<p>まず、一般廃棄物の最終処分量の目標値については、国の方針に準じ、平成 29 年 4 月に策定した「一般廃棄物処理基本計画」の目標年度である平成 32 年度最終処分量を 5,600 トンとしています。</p> <p>今治市では、従来、市内にあった 4 つのごみ処理施設を平成 30 年 4 月に稼働した新ごみ処理施設「今治市クリーンセンター（愛称：バリクリーン）」へ統合・集約を行いました。</p> <p>市民の協力によるこれまでの排出抑制策の効果や新ごみ処理施設稼働に併せて新たに開始したごみ分別の徹底と焼却残渣の積極的な資源化を図ることで、平成 30 年度の実績値及び達成度は、平成 27 年度と比較して 3,978 トン減少した 5,510 トン、計画より 2 年早く目標を達成することができました。今後も適正な分別による資源収集を促進するとともに、市民に対して分かりやすい周知・啓発を行い、最終処分量の減少に努めていきます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。これで、資料 2 の説明が終わりました。</p> <p>ここまでの内容で、非常に多岐に渡りますけれども、身近なところでも結構ですので、常日頃、お感じになられていることとか、取り組みの中で、もう少し直して</p>

	<p>くれたほうがいいのではないかと行ったようなご意見・ご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。</p>
<p>A委員</p>	<p>先ほど、健康推進課の方から、医療の救急についてお話がございました。その中で、医師会が感じておりますのは、行政の政策の中心的なものというのは、ここでも書かれているように、観光含む産業であったり、教育であったり、そしてその3番目にはどうしても医療・介護・福祉を中心としたまちづくりみたいなものを入れてもらいたいと考えています。そうでないと、やはり子どもや母親が定住しないのではないかと、手前味噌かもしれませんが、私どもはそう思っております。</p> <p>そして今、人口減少に伴いまして、今治の医療に関しても、根本的な今治地域の医療構造のあり方を考える時が来ているという風に思っております。</p> <p>健康推進課からの説明にもありましたように、愛媛大学からERチームを招いて、毎週土曜日から日曜日にかけての24時間、支援を受けやっております。これは日本初の試みで、市の方にもたくさん協力していただいておりますが、一時的なもので、これからずっと続けるのはなかなか難しいです。しかし、今治地域の医療というのは、県下どこでもそうですけれども、愛媛大学無くして成り立たない状況です。岡山は岡山、香川は香川、徳島は徳島、高知は高知ということで、外に出ていくということは全くありませんので、今治は愛媛大学に頼るとというのが非常に大事なことになっております。岡山大学なんかからも、なかなか先生は来ません。</p> <p>そうなってくると、愛媛大学を今治に引っ張り込むにはどうしたらいいのかということで、医師会長らも必死になって、人脈使いながら引き込み作戦をずっとやっております。非常に大変なことではありますが、それはまた努力としてやっているのですけれども、やはり今治全体の医療構成の在り方を考える時期が来ています。</p> <p>新居浜市は、今、県病院建て直しをやっています。令和3年7月に完成すると思っておりますが、そのあと愛媛県立今治病院の建て替えについても、進んでもらわないといけません。市の方も知事要望を出していただいているのですけれども、ただ単に建て替えるのではなくて、もう少し大きなスケールでものを考えた中での建て替え、あるいは医療の構想・構成の見直しという風なことをしなければならないのではないかと思っております。</p> <p>今、県がどういう風に考えているのかと、先般、公営企業局の病院課の方に行って話しましたが、「まあ、そういうこと言われても、私どもにはね。」みたいな話で、やはり上からの命令が下されないとなかなか職員は動かないと、まあ公務員の鉄則みたいなものが非常に見えまして、ちょっと文句を言ったんですけれども、そういう新しいものを少し考えなければならないのではないかとという風に思っております。</p> <p>それで、今治市さんをお願いしたいのが、医療を進めております健康推進課、そして企画、財政そこら辺の人が1つに集まって、医師会も最大限の努力をいたしますし、今も頑張っているのですけれども、そういう市の方にもチームを組んでいただいて、そういう風なことを早急に仕上げていくと。もうそんなに時間があるわけではないので、お願いをしたらと思います。人口減少や高齢化がどんどん進みますし、そういう風なことで、病院の在り方みたいなものを考えなければならない時期が来ました。そういう風に思っております。</p>

	<p>1つお願いではあるんですけども、加計学園もそろそろひと段落すると思いますので、次はこれの方よろしくお願ひいたします。ぜひとも素晴らしい能力と情熱をお持ちの今治市の皆さんにお願いをしたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。</p>
座長	<p>人が暮らしていく上で必ず必要な医療、それと介護。将来を考えた上での今治は、自足可能で、皆さんが生活して定住していくためには、必要不可欠な医療体制、介護体制。これを長期的なビジョンを持って、県に頼るだけでなく、今治市は今治市のことを考えて、地域でもしっかりと将来像を持って考えていく必要があると考えていかなければ、良いものは出来ないという風なことだと思います。</p> <p>健康推進課の方も、将来像も考えながら取り組みをして、色々な調査や検討はしているとは思いますが、市の中心的な施策としても、愛媛県への要望にも毎年、県立今治病院の関係についても要望を上げているのですけれども、大きな考え方で、将来像についてしっかりと取り組んでいかなければいけない問題であるとは、我々も認識しております。企画課の方も健康推進課の方も、チームとして、情報を共有しながら、一つの方向性、今治市としてどういうものが望ましいのか、考えていかなければならないというのは上層部の方も、十分認識しておりますので、今後ともしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。</p>
事務局	<p>後程、ご説明申し上げるようになっておりますけれども、総合戦略の改定という作業に向けて、今日皆様方からいただいた意見プラス、次回の会の中でも意見を頂戴するのですけれども、併せて来年度、市の総合計画の後期計画の改定にあたります。</p> <p>今、まさにA委員さんからおっしゃっていただいたまちづくりの施策としての取り組みの部分につきましては、総合計画の策定の中で、ぜひ皆様方のご意見をしっかりと頂戴しながら、整理をしたいと思っておりますので、またご協力いただけたらと思います。以上でございます。</p>
森山構成員	<p>先ほど、A委員さんからお話もありましたが、愛媛県の県立病院につきましては、中期経営戦略というものがございまして、次期の計画は、令和3年度から令和7年度の5か年度の計画になります。</p> <p>そうなりますと、来年度令和2年度に中期経営戦略の策定という作業が、愛媛県の公営企業局の方で行われます。そこに、県立病院の建て替えにつきまして、明記していただくのが、当面の課題であると考えておりますので、今治圏域の医療につきまして、どのような県立病院が必要なのかという観点から、医師会さんとも十分協議させていただきまして、その計画策定に載せられるように愛媛県に働きかけていきたいと考えております。以上です。</p>
A委員	<p>先ほど話された中期経営戦略について、それについても病院課の方とも「どう考えているのか。」と話をしたのですけども、「伸ばしても良いんです。」みたいな話をされて、そのレベルであれば、中期経営戦略は立たないので、市の方からも言って、しっかりと計画を練っていくということが必要と考えております。</p> <p>もうそんなに時間はない、今年と来年ぐらいしかないと思いますので、ぜひとも、当然私とも言いますから、お願いをいたします。</p>
座長	<p>関係部署で連携しながら、しっかりと取り組んでまいりたいと思ひます</p> <p>他に、非常に多岐に渡る今までの実績値 KPI でございましたけれども、先ほどA</p>

	<p>委員さんの方から、医療の関係がございましたけども、他にそれぞれ皆さんご関心持たれる分野あると思うんですけども、今までの説明の中で、ご意見と質問等ございましたら、お願いしたいと思うんですけども。</p> <p>(質問等なし。)</p> <p>それでは、最後の議事へと進めさせていただきます。議事(3) 地方創生推進交付金事業(平成30年度実施事業)の効果検証について、協議をさせていただきます。</p> <p>資料4 地方創生推進交付金事業効果検証調書「稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業」について、担当課よりご説明します。</p>
<p>スポーツ振興課(西原補佐)</p>	<p>スポーツ振興課から説明いたします。</p> <p>まず、本交付金につきましては、愛媛県が実施しております「えひめ愛・野球博」事業に充てられております。愛媛県では、えひめ国体・えひめ大会の成功をはずみとした「スポーツ立県えひめ」の実現に向け、裾野拡大や競技力向上に取り組んでいるところでございますが、その切り口のひとつとして、野球王国愛媛の発展や地域活性化をはかるため、全国初の「野球」をテーマにした「えひめ愛・野球博」を実施しており、今治市は同博覧会のイベント開催を促進するため、愛・野球博実行委員会に対しまして負担金を拠出しております。このことにより、達成度につきましては、事業実施主体事務局であります、愛媛県から提供のあった数値をもとにご説明させていただきます。</p> <p>まず、目標1「社会減の縮小数」についてでございますが、平成30年度目標に対する達成度が△204%となり目標達成とはなりません。主な要因といたしましては、全国的な東京圏の一極集中が拡大しており、県外から進学してきた若者が地元に戻ったり、県内の大学等を卒業した者が県外へ就職したりする一方で、進学等で県外に転出した若者は卒業後も戻ってこないこと等により転出超過が悪化していることであると推測されております。</p> <p>目標2「県外からの移住者数」についてでございますが、目標に対する達成度が、282.5%とすでに2019年の目標数値を大きく超える結果となりました。主な要因といたしましては、愛媛県や県内市町による移住に関する取り組みが形になり始めたためと考えられます。</p> <p>目標3「観光入込客数」についてでございますが、目標に対する達成度が、△415.2%となり基準年である平成27年度よりも下回る結果となりました。主な要因といたしましては、平成30年7月豪雨災害などによる被害の影響であると考えられます。</p> <p>目標4「観光消費額」についてでございますが、目標に対する達成度が、32.8%となりました。主な要因といたしましては、目標3と同様に平成30年7月豪雨災害などによる被害の影響であると考えられます。</p> <p>続いて、平成30年度今治市を会場とした事業実績と効果についてでございますが、12月28日に今治市営球場におきまして、「第5回西日本豪雨災害復興チャリティーえひめ愛・野球博プロ野球愛媛県人会野球教室」が開催されました。主催はプロ野球愛媛県人会で、今治西高校出身の西武ライオンズ熊代聖人(まさと)選手、済美高校出身の楽天イーグルス福井優也投手、松山商業高校出身のヤクルトス</p>

	<p>ワローズ阿部健太スカウトが講師を務め、午前は守備及び投手練習、午後は打撃練習を行い日本のトップレベルの技術指導や野球に取り組む姿勢などの指導を受けました。参加対象者は、愛媛県内の軟式・硬式野球部及びソフトボールチームに所属している小・中学生130人で、そのうち市外のチームからは50人が参加し、市内チーム選手と野球を通じて交流を図りながら事業を実施したことにより交流人口の拡大についても寄与したものと考えております。</p> <p>今後も引き続き、スポーツの裾野拡大や競技力向上、地域活性化を図るため愛媛県と協力しながらスポーツ立県えひめの実現に向けた取り組みを推進してまいります。以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。以上で、「稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業」についての説明が終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。</p>
B委員	<p>今おっしゃったこの取り組みですが、今治でスポーツというとやはり、思いつくのはサッカーではないかと思うのですが、そこで野球を持ってこられたというのは、斬新というか新鮮な感じがいたしました。</p> <p>愛媛県が主催で、それに今治市が協賛したという形だと思うのですが、この取り組みが、今後も継続していく予定はあるのでしょうか。</p>
スポーツ振興課（西原補佐）	<p>はい。平成30年度から3か年の予定で、「えひめ愛・野球博」開催する予定にしております。</p> <p>そこで、拡大等を図らしていくような形で、愛媛県の方は計画しているようです。</p>
B委員	<p>今治市も、あと2回、これに参加する予定という風に解釈してよろしいでしょうか。</p>
スポーツ振興課（西原補佐）	<p>はい。愛媛県内全市町が、協賛というか負担金を拠出した中で、愛媛県愛・野球博実行委員会のほうで、主体的に進めさせていただいていますので、全市町が参加したような形になっております。</p>
B委員	<p>今回野球教室のチラシをいただきましたので、見せていただいたのですが、定員が200名になっていますよね。今治の場合130人ということで、定員を満たしていないのは、とても残念な感じがいたしますので、次回、もしも取り組みをなさるのであれば、もう少し広報に力を入れられて、より裾野が広がるようになさったらいいのではないかと思います。</p>
スポーツ振興課（西原補佐）	<p>ありがとうございます。</p>
B委員	<p>それと併せて、質問したいことがございます。よろしいでしょうか。</p> <p>最初の今治市まちひとしごと創生総合戦略の少子化対策強化のところの通し番号20番、21番。アンケートをなさったということですが、このアンケートに関して、対象が何人いたのか、それからどういう方にアンケートをお願いしたのか、アンケートの回収はどのようになさったのか、そのあたりを伺いたいのですが。</p>
子育て支援課（松岡係長）	<p>調査についてご説明させていただきます。まず、調査の目的ですが、教育保育に関することや、地域における子ども子育て支援事業の現状把握、課題抽出を行い、子育て支援事業計画を策定するための基礎資料として行いました。</p> <p>調査地域につきましては今治市全域で、対象者は今治市内在住の在学前児童のい</p>

	<p>る 5,188 世帯のうち 2,000 世帯を無作為に抽出いたしまして、その中の 966 世帯からの回収がございまして、48.3%の回収率でした。</p> <p>調査方法といたしましては、郵送配布の郵送回収という郵送調査法で行いました。</p> <p>調査時期は、昨年平成 30 年 11 月 17 日から 12 月 3 日で行いました。</p> <p>こちらの調査をもとに、別の付属機関でございます「子ども子育て会議」にて、第 2 期子ども子育て支援事業計を、今年度中に作成する予定となっております。以上でございます。</p>
B 委員	<p>ありがとうございました。子育てをしておられるお母様、お仕事をお持ちのお母様だと、来たものに回答して、それをまた郵送で送り返すというのは、非常に手間がかかることだと思います。</p> <p>ここで、先ほどおっしゃっていたように、おむつ券交付を行なったと、5 万円分のおむつの券をいただいて、これがあるがたいと皆さん思われると思います。それが、結果として 2.4%下がったということで、これはちょっと残念な結果ではないかと思いました。2.4%はあまりに数が小さいといいましょうか、もう少し上がっても良いのではないかと感じました。もう少し、皆さんが喜んでおられるのだなというような、結果としてわかるような数値が出てもいいのではないかという気がいたしました。</p> <p>ですので、ネットでアンケートをすとか、そういうことを今後検討なさったほうが、回収率も上がるのではないかと思います。</p>
子育て支援課 (松岡係長)	<p>ありがとうございました。いただきましたご意見を、今後のアンケート調査に活用させていただければと思います。ありがとうございました。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどいただいた意見につきましても、いろいろな部署も含めて周知、検討させていただきたいと思います。</p> <p>他にご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。 (質問等なし。)</p> <p>ありがとうございました。議事 3 につきましては、本日いただいたご意見を、資料 4 の評価調書の 2 枚目左下部分に記載し、市の方針もそれをふまえた内容に調整したうえで、8 月中旬を目途に、委員の皆さまに郵送させていただきますので、ご確認をいただきますよう、お願いいたします。評価結果につきましては、ご確認いただいたのち、市議会においてお示ししたうえで、市のホームページにて公表させていただくこととなりますので、ご了承ください。</p> <p>これまでの全体の内容について、ご意見ございましたらお願いしたいと思いますが。 (質問等なし。)</p> <p>時間の都合もございますので、今後の運営につきまして、先にご説明させていただきます。</p>
事務局	<p>今後の取り組みの部分につきまして、ぜひご承知おきいただければと思ひまして、その上で、また全般的なご意見を頂戴できればと思います。</p> <p>前回もご案内をいたしましたけれども、総合戦略につきましては、今年度で計画</p>



	<p>期間が満了となるため、国の動向も踏まえた、新しい総合戦略を策定する必要がございます。策定にあたっては、国の方針もありますので、新たに専門委員を追加させていただくことを考えております。</p> <p>今後のビジョン懇談会でございますが、今年度あと2回の開催を予定しております。</p> <p>まず11月に、新たな総合戦略の策定に向けて、人口の動向について人口ビジョンという形で、当初皆様にお示しをさせていただきましたけれども、こちらの分析を今しております。5年に1回人口動向、ざっとですけれども、前回と変わらず厳しい状況にはなっております。若干高齢者の方がいわゆる自然減というところも大きな方向性が出てきているのかなということ、あるいは、外国人のことを少し説明させていただきましたけれども、こちらの方々の動きということも大きく人口構造に影響出てくるかなと想定されております。</p> <p>こうしたものを次回皆様方にお示しさせていただけたらと思います。出来るだけ事前にお配りさせていただいてご意見として頂戴できるように、準備をしたいと思っております。</p> <p>その人口の動向というものを踏まえまして、課題の整理をさせていただければと思っております。これの課題の整理こそが、いわゆる次期の総合戦略の骨子という風になろうかと考えておりますので、またご協力願えればと思っております。</p> <p>あと、担当省庁が違うということで、お手間を取らせ取りますけれども、共生ビジョンも併せて、こちらの所要の改定も、次回の11月の時に皆様をお願いしたいと考えております。</p> <p>続いて令和2年2月には、最終的に総合戦略を策定するにあたりまして、市議会への報告ということも必要になってまいります。この最終策定作業に向けて、総合戦略の案というものに対して、皆様からご意見を頂戴して、案の最終確定をさせていただきたいと考えております。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、引き続きご協力を賜りますよう、お願いいたします。以上でございます。</p>
座長	<p>それでは、もう一度、他にご意見ございましたら、お願いしたいと思うのですが。</p>
C委員	<p>すみません。十分まとめきれてないところもあるんですけど、稼ぐ力を創出するという活性化事業について感じたことをお話しします。</p> <p>今治市では、今日の資料にもありました資料1の3枚目の真ん中辺り、イ.スポーツのまちづくりというところ、いくつか項目があると思います。資料4の方は、やはり県が主導でやっているもので、32年度ですから来年までは野球を中心としたことになっていくんだろうなという気がしないではないのですが、もともとこの総合戦略の中に、今治市としてはスポーツのまちづくりというので、サイクリングも立派なスポーツだと思うのでそのあたりとも絡んでくると思うのですが、ここらに出ている数値を見てますと、資料1通し番号31番のOKADA・METHODの理念を活用したまちづくりについて、スポーツ実施率を上げていきたいと思います。アンケートが全然行われてなくて、どのくらいになっているのかが全くわからないような状況です。あと今治で言うと、愛媛国体の時もすごく実感したが、新都市のテ</p>

	<p>ニスコートの稼働率が非常に素晴らしくて、ひっきりなしに大会も開かれていて、これはすごく良いことだと思うのですけれども、国体の時には玉川ダムを使ってボート競技も行われたりしましたが、ああいうところをもっと活用して、県大会とか全国大会までは言わないですけども、西日本の大会とか、四国大会とかを頻繁に開催できるようにすれば、県外からの観光客というわけではないですけども、応援・選手の宿泊だったり、地元でお金を使っただけというようなことにも役立つのではないかと考えております。</p> <p>私の子どもも野球をしていて、実感として時々耳に入ってきたのが、親の方の負担が大変で、野球に限らないかもしれませんが、試合のたびに送り迎えをしたり、練習や試合に保護者の方が代わる代わる行って、子どもたちの世話をしなければならなかったりと、結局は子ども達がやりたくても出来なかったりということがありました。資料の中にもありましたけれども、総合型スポーツクラブを10団体作りましょうという目標の中で現在5つであったり、先生方も大変なんですけれども、学校の部活動が週1回ないし2回休みになっていますが、子ども達にはやりたい子もいるわけですね。</p> <p>そんな中で、例えば競技団体の方で、なかなかこれも大変だと思いますが、各スポーツの競技団体に、市役所の方含めて、たくさんの大人の方関わっていると思うのですけれど、先生が指導できないなら、協会のスタッフなりが、誰かを手配して、どこかで練習するという環境を作った方がいいのではないかと考えています。</p> <p>今治の活動見ていると、スポーツの力は人を惹きつけるものがあって、野球やサッカーでも結構ですが、中学高校レベルでは、ボートだったり卓球だったり、全国的に活躍している部活動もあると思います。そういう子ども達を今治から輩出して、そういう子ども達が、新しい世代を育成できるように、コーチで帰ってきてくれるとか、という風なことを考えていくことが必要だと思います。稼ぐ力はごもともだと思いののですが、結局スポーツで、良い環境・良い成績・良い選手・良いスタッフが居れば、おのずと人は集まってくるのではないかと感じております。</p> <p>ですので、総合戦略にあるサイクルシティとかスポーツのまちづくりの部分なんかも考えていくことによって、今治独自のスポーツと文化による地域活性化を図れていけるのではないかとこの風を感じました。</p>
事務局	<p>C委員さんからご発言いただきました、応援の人や選手がいらっしゃるところで、まさに今、国の方が次の総合戦略の中で関係人口というキーワードを打ち出しております。いわゆる定住人口とか交流人口、その間にある関係人口というところで、例えばサッカーで言いますとアウェーの応援団の皆さんが今治にいらっしゃって、泊まっていただくとか、それから指導者であったり、世界で活躍する選手を育てて、そういう人たちに関わる人達が今治に、今治出身ではないけれども関わっていただくというような関係人口というところについて、着目をされております。私どもも、次回の改定に向けては、意識をさせていただきたいなと考えております。</p> <p>それから、社会全体といいたいでしょうか。今、先生の働き方改革というところも大事な取り組みでございますので、どういう形で、社会体育という形の中で整理ができるか、その目標の1つが、総合型地域スポーツクラブという答えだったろうと思いますけれども、あらゆる形で、私どもとしても調整したいと思っておりますので、ま</p>

	たご相談させていただければと考えております。以上でございます。
座長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>他にご意見・ご質問ございませんでしょうか。もうそろそろお時間も来ていますけれども、ご意見ございましたら、お願いしたいと思うのですけれども、よろしいでしょうか。</p> <p>(質問等なし。)</p> <p>かまいませんでしょうか。それでは、本日は長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございます。これをもちまして、令和元年度第2回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を閉会といたします。</p> <p>皆様、本日はどうもありがとうございました。</p>